

ししが 労福協

No.14

豊かなくらし

第750号《改題14号》
 2023年7月1日発行
 発行人 (一社) 滋賀県労働者福祉協議会
 専務理事 山本 俊夫
 〒520-0806
 大津市打出浜 2-1 コラボしが 21 6 階
 電話 077-524-6290
 F A X 077-523-4070
 URL <https://s-rofuku.com/>
 E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
 印刷所 ユメディア株式会社

滋賀県労福協第67回定期総会を開催

『貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会』をめざして



5月8日から、新型コロナウイルスも感染症法上の分類が「2類」から「5類」に移行され、制約のあった私たちの活動も、ようやく対面での活動ができるようになってきました。本年度の一般社団法人滋賀県労働者福祉協議会『第67回(第15期)定期総会』は、傍聴人員を縮小しながら、5月25日(木)午後2時45分より、琵琶湖ホテル「瑠璃」の間にて集合開催をすることができました。総会には、三日月 大造 滋賀県知事の代理として滋賀県労働雇用政策課 菊池 克博 課長、あしたば会 小竹 富雄 会長、退職者連合 増田 勝治 会長にもご臨席いただき、総会に華を添えていただきました。

総会冒頭、大西 省三 会長からは、2022年度、感染防止対策を図りながら工夫して取り組んだ事業の実施報告と、会員の皆さまの日頃のご協力に対して御礼が述べられました。また、労働者福祉運動の視点から、社会的課題を含めて、今後も『福祉はひとつ』を合言葉に取り組みを進めてまいりたい、と挨拶されました。

議事は、東近江労福協の城 雄起 代議員(東近江労福協会長)が議長に選出され、進行されました。

まず、第1号議案「2022年度活動報告」、第2号議案「2022年度会計報告」を山本事務局長、「会計監査報告」を南園監事が行い、拍手多数により第1号議案・第2号議案は可決承認されました。活動報告では、2022年度新しい取り組みとなったフードドライブ事業や、ろうふくエール基金を活用したNPO法人への支援等、地域とのつながりに重点をおいた事業についても報告されました。

続いて、第3号議案の「2023年度活動方針」を仁尾専務理事より、第4号議案の「2023年度予算」については山本事務局長より報告され、拍手多数にて確認されました。社会における貧困の進行や格差の拡大、社会的孤立の広がりが深刻となる中、2023年度は、以下4つを活動の基調として、人びとの「共感」を得られる運動を推進してまいります。

<2023年度活動の基調>

- * 労福協の「つなぐ」役割と「つながる」運動
- * 地域における労福協活動の役割
- * 労働運動への期待と一体的取り組み
- * 労働運動と労働者福祉事業との関係性

第6号議案では、人事委員長の白崎 直樹 副会長から役員改選について提案されました。仁尾 和彦 専務理事、千秋 章造 副会長、中尾 喜享 理事の3名が本総会をもって退任、奥田 修氏、北村 賢太郎 氏、救仁郷 節夫 氏が新たな理事として選任されました。

最後に、以下、4つのスローガンを採択し、現下の情勢を踏まえ労働者自主福祉運動のさらなる前進を誓い合い、総会を終えました。

<第67回(15期)定期総会スローガン>

- ★貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされる地域共生社会を実現しよう!
- ★平和が守られ、安心して働き暮らせる持続可能な社会を実現しよう!
- ★「つなぐ」役割と「つながる」運動を強化し、地域における取り組みをすすめてよう!
- ★労働運動と労働者福祉事業の「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を広げよう!



(一社) 滋賀県労働者福祉協議会

滋賀県労福協 新役員 滋賀県労福協 第15・16期役員体制が決定しました!

第67回定期総会後の第2回理事会では、第15・16期役付が決定されました。新しい体制のもと、会員団体相互の連携強化や地域におけるネットワークの拡大を図り、柔軟な視点を持ち、役職員一丸となって労働者福祉運動を盛り上げてまいります。皆様方のご理解とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

白木 宏司 新代表理事より ご挨拶



【白木 宏司 新代表理事】

滋賀県労働者福祉協議会の代表理事(会長)の就任に際し、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染症が初確認されてから3年が経過しました。去る5月8日から感染症法上の分類が5類に引き下げられ、医療的な措置が変更となり、行動制限なども撤廃されたことから、社会・経済活動は平常な状況に戻つつあります。

一方、この間私たち労福協は創意工夫を凝らし、「2030年ビジョン」の前進に向け取り組んできました。さらには、今一度「福祉はひとつ」で始まった労働者自主福祉運動の原点に立ち返り、労福協・労働組合・福祉事業団体がともに運動する主体となることが求められています。そして、これまでの運動で培った経験を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れて、このポストコロナの取り組みに繋げていかなければなりません。共助の輪を地域に広げ、SDGsがめざす「誰一人取り残さない」持続可能な社会を創造するために、「今こそ、労働者福祉運動の出番」との気概を持ち、ポストコロナ社会に向けての取り組みを強化したいと思います。

「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して働き暮らせる持続可能な社会をめざして」をスローガンに共感の得られる運動を進め、すべての労働者の福祉を守り抜く使命を担ってまいりたいと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新任役員より ご挨拶



【奥田 修 新事務局長】

5月25日の第67回定期総会で承認頂き、事務局長に就任致しました奥田です。

出身は、電機連合ホテルクス労組です。

少しブランクはありましたが、労福協には長く携わっておりましたので、今までの経験を活かしながら、新たなご意見をみなさまから頂戴し、生きた活動を行いたと思っています。

「福祉はひとつ」の理念を柱として取り組んで参りますので、みなさまのご指導を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。



【北村 賢太郎 新副会長】

この度、副会長に就任し、また、地域副会長という重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、この3年間で社会や地域のコミュニティは分断されがちでしたが、最近では、様々な活動が再開され新たなコミュニティの仕組みが築かれました。新しい社会構造の中で、「福祉はひとつ」のスローガンのもと地域に根差した深みのある活動を目指し、共に労働者福祉の取組みを進めていきましょう! よろしく申し上げます。



【救仁郷 節夫 新理事】

この度、地域副会長として理事に就任させて頂くことになりました救仁郷 節夫(くにごう せつお)です。宜しくお願い致します。

2年半前から大津労福協幹事として労働者福祉に携わってききましたが、この間はコロナにより思うような活動ができない状況でした。5月8日から感染症法上の位置付けが変わり、今後は活発な活動が出来ると思います。

勉強不足のところもありますが皆様にご指導を受けつつ参画してまいりますので宜しくお願い致します。

退任役員より ご挨拶

【仁尾 和彦 前専務理事】

第67回定期総会で退任いたしました仁尾でございます。2021年4月から事務局長として、そして同年5月の第65回定期総会から専務理事として在任しました2年余りの期間、連合滋賀、各事業団体、各地区労福協、くらしサポートセンターしが各地区センターをはじめ関係者の皆様にお支え頂いたこと、心から感謝申し上げます。

在任中は、コロナ禍で大きく影響を受けましたが、労福協活動を地域展開すること、社会的課題に向き合うことが求められると認識し取り組みました。この方向性はさらに重要になってくると思います。これからは地域から労福協活動を応援していきます。

滋賀県労福協の今後ますますの発展と皆様のご健勝を祈念し、退任の挨拶にかえさせていただきます。

【千秋 章造 前副会長】

滋賀県労働者福祉協議会副会長として、皆様には大変お世話になりました。こうして無事に、役員の任期を満了することができました事を、心より御礼申し上げます。とは申しましても、未熟な点や、至らなかった点などが、多々あったであろうと思います。当初は重責を全う出来るのかと、自問自答の日々でした。ご迷惑をおかけしてしまったこともあったかと思いますが、皆様からのご理解と温かいサポートを受けて本日を迎える事ができました。過ぎてしまえば早いものですが、私にとって貴重かつ充実した時間を過ごすことができました。

本当に有難うございました。

結びに、今後益々の労働福祉運動の発展と皆様のご健勝を祈念し、退任の挨拶にかえさせていただきます。

TOPIC 1 近畿労働金庫滋賀地区本部

滋賀地区各支店で推進委員会・全体会議を開催しました!! ~「生活応援運動2023」の推進を全体で確認~



2023年度の推進委員会・全体会議が各支店で開催され、2022年度の業務概況報告及び第25回通常総会予定議案、2023年度事業計画等について論議いただきました。

2023年度は第8次中期経営計画の最終年度として、「生活応援の深化」と「金融機能の進化」の総仕上げに向け必要な取組みを着実に進めていき、「生活応援運動2023」では、会員・推進機構との絆をさらに強め組合員の幸せを追求する“同じ目的”を持って「金融アドバイザー」としての役割を発揮し、組合員

への生活応援を継続して展開することを確認いただきました。また、4月1日から「生活応援キャンペーン~えがおの輪~」を実施し、「高金利のローン利用防止と他行ローン借換え強化」を進め組合員とその家族の生活を支える総合的なお金の相談活動の周知と推進についても全体で確認いただきました。



TOPIC 2 こくみん共済 coop <全労済> 滋賀推進本部

~7才の交通安全プロジェクト 横断旗寄贈のご報告~



「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」こくみん共済 coop では、そんな思いから、子どもたちを事故から守っていく「7才の交通安全プロジェクト」をスタートし、そのプロジェクトの一環として、マイカー共済のお見積もり1件につき横断旗1本を寄贈する取り組みを行っています。



こくみん共済 coop 滋賀推進本部でも、これまでに累計6,294本の横断旗を寄贈しており、2023年4月11日(火)には、新たに滋賀県警察本部へ3,200本の横断旗の寄贈を行いました。これらの横断旗は、県内各地区の交通安全協会などの活動をつうじて、子どもたちを交通事故から守ることに役立てていただきます。こくみん共済 coop では、「もしも」のときの保障の提供だけでなく、「もしも」を未然に防ぐための活動も実施しています。交通事故のない安全な社会をめざす「7才の交通安全プロジェクト」もその一つです。

今後も安心安全な社会づくりのために、皆さまとともに取り組んでまいります。これまでのご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後ともぜひご協力をよろしくお願いいたします。

TOPIC 3 滋賀県勤労者住宅生活協同組合

~建築の魅力伝える就活イベントを開催~

「学生団体Clown」(立命館大学工学部建築都市デザイン学科で構成)と滋賀県住宅生協 TCS会(以下TCS会)が共同で「滋賀で建築を学ぶ学生と滋賀の建築会社をつなぐ」をテーマに合同企業説明会を開催いたしました。

かねてより「学生団体Clown」の活動を支援してきたことが縁で、建築に関心の高い学生たちに仕事の魅力を伝えようと初めての企画・開催となりました。「学生団体Clown」のメンバーや立命館大学の学生45名と、TCS会員企業7社が参加し、仕事の内容や企業の魅力を学生らに伝えることができました。

参加した学生は「企業の強みや具体的な職務内容まで知る事ができて有意義だった」と話していました。



~フードバンクへの食品・食材を提供~



食糧支援を必要とする家庭や福祉施設への支援、並びに食品ロス削減の観点から、役員と関係団体へ食品・食材提供の協力を呼びかけ、集まりました品々をフードバンクしが、フードバンクびわ湖それぞれに提供を行うことが出来ました。また、滋賀県勤労者福祉協議会が主催するフードドライブ事業にも参画し、就労継続支援事業所の協力により作業所で作られましたお菓子を寄付する取り組みも行うことができました。

TOPIC
4

滋賀県生活協同組合連合会

滋賀県生協連の活動紹介します！

～NPO 法人消費者ネット・しが第13回通常総会開催・全3議案を可決～

5月27日、大津市のピアザ淡海に於いて、第14回通常総会を開催し事業報告、活動方針、収支計画・予算、役員選任など、議案すべてを賛成多数で可決しました。

役員改選後、第13期第1回理事会では、理事長に伊藤慧氏（再任・弁護士）、副理事長には市村あつ氏（再任・消費生活相談員）、松林慧氏（再任・弁護士）が就任し、理事8名、監事2名で新体制がスタートしました。

～「いまを生きるこどもたちのための消費者教育」消費者月間セミナーを開催～

5月27日、大津市のピアザ淡海に於いて、消費者月間（5月）の学習・講演企画として「いまを生きるこどもたちのための消費者教育」をテーマに、県と消費者ネット・しがが共催し、オンライン併用のセミナーを開催しました【参加31名（オンライン9名）】。

講師の太田由紀枝さん（NPO法人 Safe Kids Japan）より、こどものケガを減らすこととして、救急搬送データで見る「子どものけが」、予防することとはどのようなことか、「子どものけが」を減らすための活動、子どもたちへのメッセージの内容で講演をいただきました。

子どものケガを無くすために活動を実践している事例から企業・団体、行政、消費者として何ができるのか、子どもを育てるための手当も必要であるが、子どもを社会全体が子育てする環境を構築することが大切であることを感じました。



講演者 太田 由紀枝さん

TOPIC
2

草津栗東地区労働者福祉協議会

～「第55回草津宿場まつり」に参加～



れたサンヤレ踊りなどが披露され大いに盛り上がりました。

4月23日（日）に草津川跡地公園 de 愛ひろばをメイン会場に、東海道・中山道の街道筋一帯で開催されました「第55回草津宿場まつり」に草津・栗東地区労福協のメンバーが草津宿場まつり実行委員として運営に携わりました。当日は天候に恵まれ、また4年ぶりの開催となり1万8千人ももの来場者が来られました。ミニ時代行列は、華やかな衣装の和宮役や篤姫役が公園内を練り歩き、ステージではストリートピアノやユネスコ無形文化遺産に登録さ

れたサンヤレ踊りなどが披露され大いに盛り上がりました。

草津・栗東地区労福協は、今後もいろいろな形で地域の活性化のお手伝いを続けてまいります。

草津・栗東地区労福協 事務局長 窪田 明裕

《総会のご案内》

- ・滋賀県生活協同組合連合会第48回通常総会
日時：6月24日（土）10時
場所：コラボしが21 3階 大会議室
- ・近畿労働金庫第25回通常総会
日時：6月26日（月）14時
場所：アートホテル大阪ベイタワー
- ・滋賀県勤労者住宅生活協同組合第55回通常総会
日時：6月26日（月）14時
場所：コラボしが21 3階 大会議室
- ・滋賀労済第66回通常総代会
こくみん共済 coop 滋賀推進本部第6回組合員代表者会議
日時：7月31日（月）13時30分
場所：クサツエストピアホテル

令和5年 夏の交通安全県民運動

実施期間：令和5年7月15日（土）～7月24日（月）

運動の重点：

- ①子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- ②自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
- ③飲酒運転・妨害運転等の危険運転の根絶
- ④横断歩道利用者ファースト運動の推進

令和5年
滋賀県交通安全スローガン

- 通学路
ゆるぎ笑顔の
滋賀ナンバー
- 事故ゼロに！
思いはひとつ
滋賀の道
- じてんしゃも
ほこうしゃゆうせん
まもろうね

第68回滋賀県勤労者美術展

Shiga Worker's Fine Art Exhibition

会期：2023年 7月25日（火）～30日（日）

会場：滋賀県立美術館 「ギャラリー」

TOPIC 3

第94回滋賀県労働者統一メーデー 県内4か所にて同時開催!!

第94回 滋賀県労働者統一メーデー 中央集会



4月29日(土・祝)、県下4会場にて、連合滋賀と滋賀県労福協の共催で、『第94回滋賀県労働者統一メーデー』を開催し、4会場に約2,300名の方々にご来場いただきました。

「支え合い・助け合う社会をつくり、暮らしをまもる! 笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう!」をスローガンのもと、中央集会是第4区(近江八幡・東近江・湖南甲賀)地区集会と合同で近江八幡文化会館にて式典を行いました。式典の冒頭では、滋賀県労福協 大西省三 会長(メーデー実行委員長)より、『「コロナ禍」によって、社会・経済活動が大きな影響を受け、社会における貧困の進行や格差の拡大、セーフティネットの不十分さなど、日本社会の脆弱性が浮き彫りとなった今こそ、社会全体で、すべての人が支え合い共生できる仕組みを構築する取り組みを進め、「誰一人取り残されることのない」社会をめざさなければならない。』と、主催者を代表し挨拶を述べられました。共催者代表として連合滋賀 白木宏司 会長からは、2023年春季生活闘争、今春の政治情勢の他、ポストコロナにおける労働環境への大きな変化について、『今後、健全な集団的労使関係のもとで真摯な議論を行い、働く者の幸せと産業・企業の発展を目指していきたい』と力強く述べられました。



三日月大造 滋賀県知事代理の大杉住子 滋賀県副知事をはじめ多くの来賓の方々よりご祝辞を賜り、式典に花を添えていただきました。メーデー宣言文が採択され、ガンバロー三唱で士気を高めた後、近江八幡地方労福協 中尾喜享 会長の挨拶にて式典を閉会しました。

また、式典後は、参加者とともに行進を行い、安心して暮らせる賃上げ、同一労働同一賃金の実現、社会のセーフティネットの強化、ワーク・ライフ・バランスの実現、男女平等社会の実現などを訴えました。



地区会場となった「膳所城跡公園」、「米原学びあいステーション」、「栗東芸術文化会館さくら」を含めた県下4会場では、4年ぶりとなるお楽しみ抽選会やトルコ・シリア大地震に対する救援募金を行った他、式典会場の外に設けられた模擬店や子どもコーナー等では、子どもたちの楽しそうな声が響き合い、誰もが安心して生活できる共生社会の実現の重要性を改めて感じるメーデーとなりました。

～第94回滋賀県労働者統一メーデー 地区集会の様子～



1区 大津・高島



2区 彦根・湖北



3区 草津栗東・守山野洲



『トルコ・シリア大地震に対する救援の緊急募金』へのご協力、ありがとうございました!

2023年2月17日より取り組みました「トルコ・シリア大地震に対する救援の緊急募金」に対しましては、会員団体様、組合様やメーデー会場ご来場者様等、多くの方々よりご協力いただき、誠にありがとうございました。

当初4月10日までの取り組みとしていましたが、5月31日まで延長させていただいた協力金は、259,987円で集約させていただきました。

皆さまからのご協力金は、「ユニセフ」「国連難民高等弁務官事務所」「赤十字」の3団体あて寄付させていただきます。今後も連携した取り組みへのご協力をよろしくお願いいたします!

はたらくあなたへ、笑顔をお届けに
近畿ろうさん

自由に使えるローンなら
ろうさん 無担保ローン

ライフエール

自由に使えるローンを安心金利で！
様々なシーンを応援します！

どんなローンがすぐわかる？
ショートムービー公開中！

「もしも」に備え
「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

「みんなですすげあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、
皆さまとともに取り組んでいきます。

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉
KOKUMIN KYOSAI ZENROUSAI COOP

【こくみん共済 coop】は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで組合員となる共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

マイホームのお悩み まるごとお任せください！

滋賀県住宅生協のリフォームで

暮らしを快適に
お気軽にご相談ください

出張費・見積無料!!
WEB予約
24時間受付中

滋賀県住宅生協 検索

まなびあい・つながりあい・つたえあい、びわ湖をたいせつにして
誰もが平和で安心して暮らせる社会の実現をめざします。

協同の力で未来をつむぐ
滋賀県生活協同組合連合会

滋賀県生活協同組合連合会

- ◆生活協同組合コープしが
- ◆生活クラブ生活協同組合
- ◆グリーンコープ
- しがまる生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者共済生活協同組合
- ◆滋賀大学彦根地区生活協同組合
- ◆滋賀大学大津地区生活協同組合
- ◆滋賀県立大学生生活協同組合
- ◆滋賀医科大学生活協同組合
- ◆しが健康医療生活協同組合
- ◆滋賀県職員生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者住宅生活協同組合
- 賛助会員
- ◆生活協同組合コープ自然派京都
- ◆立命館生活協同組合
- ◆龍谷大学生生活協同組合
- ◆ワーカーズコープ
- センター事業団京滋事業本部

◆会員団体一覧◆

日本労働組合総連合会滋賀県連合会	株式会社セイキョーホーム	近江八幡地方労働者福祉協議会
近畿労働金庫滋賀地区本部	大津地区労働者福祉協議会	東近江労働者福祉協議会
こくみん共済coop 滋賀推進本部	草津栗東地区労働者福祉協議会	彦根地区労働者福祉協議会
滋賀県勤労者住宅生活協同組合	守山野洲地区労働者福祉協議会	湖北地域労働者福祉協議会
滋賀県生活協同組合連合会	湖南甲賀地区労働者福祉協議会	高島労働者福祉協議会
ユメディア株式会社		

◆(一社) 滋賀県労働福祉協議会役員一覧◆

会 長 白木 宏司	事務局長 奥田 修	理 事 上田 薫
副会長 白崎 直樹	理 事 大西 省三	理 事 森井 徹
副会長 松元 光彦	理 事 池内 正博	理 事 救仁郷 節夫
副会長 北村 賢太郎	理 事 辻 喜則	監 事 南園 晴司
専務理事 山本 俊夫	理 事 川瀬 美智子	監 事 伴 幸士

(一社) 滋賀県労働者福祉協議会 〒520-0806 大津市打出浜2番1号 コラボしが216階
URL <https://www.s-rofuku.com/> TEL077-524-6290 FAX077-523-4070